

平成 2 6 年

高 松 市 教 育 委 員 会 3 月 定 例 会

会 議 録 (抄 本)

3月27日(木)開会

3月27日(木)閉会

出席委員			
委員長	神内 仁		
委員	児玉 令江子		
	木場 巳男		
	藤本 英子		
教育長	松井 等		
欠席委員			
説明のため会議に出席した者等			
教育局長	伊佐良士郎		
教育局次長 総務課長事務取扱	細川公紹		
教育局次長 生涯学習課長事務取扱	赤松雅子		
学校教育課長	森本順二		
保健体育課長	田中光		
高松第一高等学校事務長	白井健司		
高松第一高等学校教頭	三好武仁		
総務課長補佐	諏訪真史		
総務課総務係長	田中正徳		
会議録署名委員	藤本英子		
事務局担当書記	出上達也		

【特記事項】 傍聴人なし

議 事 日 程（3月定例会）

日程第1 2月定例会会議録承認について

日程第2 議案第9号 平成26年度教育行政の重点施策について

日程第3 議案第10号 高松市学校給食共同調理場条例施行規則の一部改正について

日程第4 議案第11号 高松市学校条例施行規則の一部改正について

日程第5 報告事項

- 1 平成26年第1回高松市議会定例会追加提出議案に対する意見の申出について
- 2 平成26年第1回高松市議会定例会について
- 3 高松市高等学校等入学準備金貸付及び高松市奨学生の選考結果について
- 4 平成26年度「教育指針—確かな学力と豊かな心をはぐくみ 夢にむかってたくましく生きる人づくり—」について
- 5 スーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）の平成25年度研究成果の報告について

【平成26年3月27日（木） 議 事 内 容】

午前9時30分 開会

委員長が、会議録の署名委員に藤本委員を指名。

日程第1 2月定例会会議録承認について

委員長が、2月定例会会議録承認について各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第2 議案第9号

議案第9号 「平成26年度教育行政の重点施策について」

総務課長から、平成26年度教育行政の重点施策の内容について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

委員長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第3 議案第10号

議案第10号 「高松市学校給食共同調理場条例施行規則の一部改正について」

保健体育課長から、朝日新町学校給食センターの給食対象校を変更するため、規則を改

正することについて説明。

<質疑>

- 委員 男木へはどのようにして給食を運ぶのでしょうか。
- 保健体育課長 朝日新町学校給食センターで調理した給食、数にして15～20食を、12時の船便でコンテナに入れて送ります。コンテナや食器・食缶などはそれぞれ2つ用意して、給食終了後に男木で簡易洗浄し、翌日こちらからのものと交代で引き取り、回していきます。
- 委員 経費はどれくらいなのでしょう。
- 保健体育課長 以前は男木で調理していましたが、学校で調理するよりも、この方法の方が安価です。内容も他の学校と同じ献立、同じ金額になります。時化の時などはその都度対応することになっています。
- 教育局長 男木で調理するとなると施設の改修、調理員の配置が必要であり、また、食材はどちらにしても送ることになり、朝日新町学校給食センターで調理したものを送ると変わりありません。
- 委員 本設校舎でも調理場は設置しないのでしょうか。
- 総務課長 使用するには改修が必要な状態ではありますが、調理場は既存校舎の北棟にあります。本設校舎の供用は平成28年度を目途にしていますが、現時点ではどのような方法を取るかは確定していません。
- 教育局長 数量も判断材料になると思います。
- 委員 広島県の学校の存続危機にある島の話になりますが、保護者が調理員として自宅の台所を使って調理していたり、弁当で構わないという人がいたりという話があります。教育委員会が全てを準備しなくても、保護者の協力を得ることも重要だと思います。島の独自性を活かすということで、市内の他の学校と一緒になくてもよいのではないかと思います。
- 教育局長 地域の協力を仰ぐことも模索しましたが、現実的に対応できるところがなく、仮設校舎ですし、再開までの期間も短かったということもあり、このような方法を取ることになりました。本設校舎ができるまでの間には、様々な可能性があると思います。

- 委員 今後、児童生徒数が減った時の事も考えなければならないと思いますし、学校で作るにしても、給食を維持していく必要性も考えなければならないと思います。離島での教育を望むのであれば、ある程度不便なことや相応の負担をしなければならないこともあるということ、保護者に対して、教育委員会として、最初に示しておかなければならないのではないのでしょうか。万が一、将来的に給食をやめることになった場合を想定すると、保護者と教育委員会との間の認識の差で、行き違いが生じて困ると思います。
- 保健体育課長 庵治第二小学校では、昼食は家に帰って食べています。男木においても学校が実際に再開されてから、地域・保護者の協力があれば、それでよいと思います。色々な案を模索した結果、現在の状態に落ち着きました。
- 委員長 保護者の考えが変わってくる可能性もあると思います。
- 委員 汁物は冷めることもあるでしょうし、こちらから運ぶのは逆に反対されるかとも思っていました。
- 委員長 反対はなかったのでしょうか。
- 保健体育課長 反対の声は聞いていません。
- 総務課長 食べ始めの時間が遅くなるのは我慢してもらいました。

委員長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第4 議案第11号

議案第11号 「高松市学校条例施行規則の一部改正について」

高松第一高等学校事務長から、高松市学校条例及び高松市会計規則の一部改正に伴い、規則を改正することについて説明。

<質疑>

(発言する者なし)

委員長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第5 報告事項

報告事項1 「平成26年第1回高松市議会定例会追加提出議案に対する意見の申出について」

総務課長から、市長より意見聴取のあった平成26年第1回高松市議会定例会追加提出議案に対する意見について、教育長の代決により「意見は特にない」旨で回答したことについて報告。

<質疑>

- 委員 工事が年度内に完了できないというのはどういうことなのでしょうか。
 - 総務課長 当初から複数年かけて実施することになっているものであります。
-

報告事項2 「平成26年第1回高松市議会定例会について」

教育局長から、平成26年第1回高松市議会定例会での教育委員会関係の質問及び答弁について報告。

<質疑>

- 委員 市議会議員が視察に行った時、帰ってきてから報告会のようなものはないのでしょうか。教育委員会において、報告の依頼をしてもよいものなのでしょうか。

また、幼稚園の給食実施について、考えていないとの答弁で、ショックを受けました。以前にも言いましたが、現在、幼稚園がとっている弁当はひどいと思います。

こども園運営課に言える機会があれば言ってほしいと思います。

- 教 育 長 市議会議員の報告会はありません。また、本市の教育行政について、全般的に、他市と比べて引け目は感じていません。現場は重圧を感じるかも知れませんが、逆に本市の教育を見る機会を増やしたいと思っています。
- 委 員 長 視察先として選んだ理由などは分かるものなのでしょうか。
- 教育局長 個人で視察に行く場合は、視察先の選定は議員自身でしています。議長に対しての報告はありますが、その他へ報告する仕組みはありません。確かに本市の状況を把握しきれていない議員もいると思います。
- 教 育 長 もっと本市の取組みを周知・広報をする必要があります。
- 学校教育課長 市議会議員には、質問が出た時に本市の取組状況を説明しまして、そこで初めて取組内容を知っていただける場合もあります。周知の方法について、工夫する必要があると認識しています。
- 委 員 保護者からの要望を基に質問を考えることもあるようですので、保護者啓発も重要だと思います。
- 保健体育課長 幼稚園の給食についてですが、現状としては、合併町は給食を提供していて、旧市内はしていません。こども園運営課としては、高松型の認定こども園を見据えていて、そこでの給食は自園調理を考えているようです。仮の話としても、学校から給食を提供することは能力的に限界ですし、受配の負担も出てきます。こども園運営課としては、学校から給食の提供を受けることは計画していないとのことでした。こちらとしては、先方から依頼があれば検討する余地も出てきますが、こども園運営課で検討してもらった結果、学校や給食センターには依頼しないとのことでした。
- 委 員 教育委員会が給食を実施してほしいと言ってきてないからだと個人的に聞いていて、新しい給食センターに期待しているという現場の声もありました。給食のことに限らず、教育委員会と幼稚園とで捻じれが生じているような気がしていて、横の連携は図ってほしいと思いますし、小学校での教育を考えると幼稚園での教育は重要だと思います。

- 教 育 長 幼稚園のことですが、幼保一体化・一元化を進めるために教育委員会から部署が分かれていき、幼稚園・保育所の現場では、その関係に違和感がまだ残っているように感じています。幼稚園の先生には、幼保一体化・一元化を進めるために前を向いて、各種課題についても自分のところで考えて、幼稚園と保育所がお互いに歩み寄りながら、早く幼保一体化・一元化が成されるように意識を切り替えてほしいと機会を見つけては伝えています。現在は過渡期でありますし、教育委員会としては障害にならないよう後押しをしたいと考えています。
- 委 員 その思いが伝わっていないのではないのでしょうか。
- 委 員 環境を整えるにしても、あまりにも過度になっているのではないかと感じます。幼稚園の弁当の内容はお粗末だと思いますが、保護者もしっかりと責任を持つ必要があると思います。
- 委 員 幼稚園訪問に行った際に、弁当の内容について、否定的に質問したにも拘わらず、内容はよい、子供や保護者からも苦情はないとの答えでした。フライ類が多くないかと更に聞いても、そんなことはないとのことでした。園によって状況が違うようで、本当に必要な要望であれば現場から声がある筈ですし、進んで行く方向を考えるに当たっては、一部の意見だけでなく多くの意見を集約して、見極めていく必要があるのではないのでしょうか。
- 教 育 長 今の仕組みで言うと現場からの声はこども園運営課に集まり、そこから教育委員会に報告・連絡があります。
- 委 員 長 長い期間、続いてきた仕組みであり、意識の切り替えが難しいとは思いますが。

報告事項 3 「高松市高等学校等入学準備金貸付及び高松市奨学生の選考結果について」

学校教育課長から、高松市高等学校等入学準備金貸付及び高松市奨学生の選考結果について報告。

<質疑>

(発言する者なし)

報告事項4 「平成26年度「教育指針―確かな学力と豊かな心をはぐくみ 夢にむかってたくましく生きる人づくり―」について」

学校教育課長から、平成26年度「教育指針―確かな学力と豊かな心をはぐくみ 夢にむかってたくましく生きる人づくり―」の内容について報告。

<質疑>

- 委員 表紙の見出しに「体」という言葉がないのが寂しいです。
 - 教育長 これは教育振興基本計画の基本理念ですので、次期計画策定の時に検討することになります。
-

報告事項5 「スーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）の平成25年度研究成果の報告について」

高松第一高等学校教頭から、国の指定を受けて取り組んでいるスーパー・サイエンス・ハイスクール事業の平成25年度研究成果について報告。

<質疑>

(発言する者なし)

午前11時50分 閉会

議決事項

「平成26年度教育行政の重点施策について」

「高松市学校給食共同調理場条例施行規則の一部改正について」

「高松市学校条例施行規則の一部改正について」